



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和 7 年 5 月 第 1 回市長定例記者会見

- ・日時 令和 7 年 5 月 7 日(水)
午後 1 時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 防犯機器の購入・設置費用を補助する「住まいの防犯対策支援事業」の
事前申込書の提出が 2 日間で 1 3 1 件ありました(資料 1)
- 2 渋川市 2 0 周年記念ロゴマークの選定に当たり市民投票を実施します(資料 2)
- 3 市民や企業などが実施する渋川市 2 0 周年を記念したイベント等を募集します
(資料 3)
- 4 ユースセンターよはく S R H R 啓発推進メンバーによる
リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発活動が渋川女子高等学校で行われます
(資料 4)
- 5 地方創生推進のための市民ワークショップ「しぶかわ未来共創カフェ」
の参加者を募集します(資料 5)

その他資料提供

- ・ミニシンポジウム「しぶかわ未来共創サマーセッション i n 豊秋」を開催します
(資料 6)
- ・渋川市 2 0 周年記念事業 第 2 1 回清流祭りを 5 月 1 8 日(日)に開催します(資料 7)

○次回開催予定

日時：令和 7 年 5 月 1 2 日(月) 午後 1 時
場所：渋川市役所本庁舎 2 階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
5月7日(水)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
5月8日(木)	9:00	6月補正予算 市長・副市長査定	市役所本庁舎	財政課
	13:15	6月補正予算 市長・副市長査定	市役所本庁舎	財政課
5月9日(金)				
5月10日(土)				
5月11日(日)				
5月12日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	15:00	地域の命を守る体制づくり委員会キックオフミーティング	市役所本庁舎	危機管理室

防犯機器の購入・設置費用を補助する 「住まいの防犯対策支援事業」の事前申込書の提出が 2日間で131件ありました

渋川市は、令和7年度の新規事業として、防犯機器の購入・設置費用の一部を補助する「住まいの防犯対策支援事業」を開始しました。5月1日から事前申し込みを開始したところ、当初の予定を大きく上回る、2日間で131件の事前申込書の提出がありました。

1 概 要

渋川市は、令和7年度の新規事業として、住宅及びその周辺において発生する可能性のある犯罪を未然に防止し、地域の安全安心を推進するため、防犯機器の購入・設置費用を補助する「住まいの防犯対策支援事業」を開始しました。

「広報しぶかわ」4月号で事業を周知したところ、多くの問い合わせをいただき、5月1日から開始した事前申込に対し、2日間で131件の事前申込書の提出がありました。

これら全ての申し込みに対応するには、予算の不足が見込まれることから、不足する額は、補正予算で対応する予定です。

2 事業内容

- (1) 対 象 者 渋川市に住民登録のある65歳以上の人又はその同居の家族
- (2) 対象機器 防犯カメラ、人感センサーライト、カメラ付きインターホン
- (3) 補助対象経費 対象機器の購入・設置に要する費用
- (4) 補助金額 補助対象経費の2分の1の額、最大2万円
- (5) 予 算 額 100万円

- 3 申込開始日時 令和7年5月1日 午前8時30分
※問い合わせが多かったため、午前10時から前倒しして開始

- 4 申込件数 131件（当初は50件の見込み）

- 5 総申込額 259万2千円（令和7年5月2日現在）
※予算額100万円に対し、159万2千円の不足

6 機器別申込件数

- (1) 防犯カメラ＝73件
- (2) 人感センサーライト＝35件
- (3) カメラ付きインターホン＝70件

※複数の機器の申し込みができるため、申込件数と一致しない

参考

1 訪問販売・訪問購入相談件数（渋川市消費生活センター）

年度	訪問販売	訪問購入
令和6年度	81件	6件
令和5年度	103件	21件
令和4年度	75件	8件

2 渋川市内における刑法犯認知件数（群馬県公表）

年	件数
令和6年	512件
令和5年	503件
令和4年	246件
令和3年	235件

※刑法犯には、窃盗犯、粗暴犯（暴行等）、知能犯（詐欺等）、器物損壊などが該当

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 小杉 早苗（内線2180）

安全安心係長 梅澤 久美子（内線1144）

資料2

渋川市20周年記念ロゴマークの選定に当たり 市民投票を実施します

渋川市20周年記念ロゴマークを募集したところ、121作品の応募がありました。全ての応募作品について、デザイン性や利用のしやすさなどの観点から1次審査を行い、候補作品を4作品に絞りました。この4作品の中から採用作品を選定するに当たり、2次審査として、市民を対象とした投票を実施します。

1 概 要

渋川市は、令和8年2月20日で20周年を迎えます。20周年のシンボルとして、記念事業に広く活用することができる「ロゴマーク」を募集したところ、全国から計121作品の応募がありました。

それらについて、「デザイン性」、「コンセプト性」、「シンボル性」、「調和性」、「汎用性」の5つの観点から1次審査を実施し、次の4作品に絞りました。この4作品の中から、20周年記念「ロゴマーク」を選ぶに当たり、市民を対象とした投票を行います。

なお、採用作品をデザインした人には、賞金5万円を贈呈します。

2 対象作品及び作品の説明

(1) 作品No. 1



〈作品の説明〉

渋川市のキャッチコピー「いで湯の街」をモチーフに、合併前の6市町村を「いで湯の湯気」で表現しています。市の花、市の木、市の鳥で20周年のお祝いに彩りを添えます。

(2) 作品No. 2



〈作品の説明〉

20周年の「20」をベースに、温泉の湯煙・20周年を祝う市民の笑顔・日本の地形を組み入れ、日本のまんなかで輝く姿および、渋川市の魅力を元気に発信しています。

(3) 作品No. 3



〈作品の説明〉

数字の2の部分は、渋川市の利根川、吾妻川や名湯などの豊かな水環境を表しており、0の部分は、市の花「アジサイ」をモチーフに、豊かな自然を表現しました。

(4) 作品No. 4



〈作品の説明〉

制作コンセプトを“渋川市”の躍動・向上・発展・市民の交流・融和・一体感として捉え、市民みんなで一緒にスクラムを組み、まちを盛り上げたいという思いを表現しました。

3 審査方法

下記の方法による投票審査を行い、最も得票数の多かった作品を採用作品とします。

(1) 市内在住者を対象とする投票

下記のいずれかの方法で投票できます。投票をする際に、投票者の居住地区及び氏名を明記してもらいます。

①市役所本庁舎及び各公民館での投票（投票用紙による）

※市役所の閉庁時及び公民館の閉館時は投票できません

②市ホームページからの投票（投票フォームによる）

(2) 市内小・中学生へのアンケートによる投票

4 審査期間 令和7年5月8日(木)～21日(水)午後5時

5 結果の公表

令和7年5月26日(月)の記者会見で発表します。

参考

応募状況の内訳

- (1) 応募期間 令和7年4月1日～23日
 (2) 応募件数 121作品 (応募者数 81人)

※内訳は下記のとおり

	市内	県内	県外	合計
10代	33	1	0	34
20代	2	0	1	3
30代	4	5	5	14
40代	3	0	7	10
50代	16	2	3	21
60代	13	0	14	27
70代	0	0	7	7
80代	0	0	4	4
不明	1	0	0	1
合計	72	8	41	121

- ①県内：前橋市、沼田市、吉岡町、草津町
 ②県外：東京都、広島県、新潟県、石川県、埼玉県、徳島県、大阪府、
 福井県、千葉県、京都府、静岡県、兵庫県、滋賀県、三重県、
 青森県、高知県、長崎県、鹿児島県

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：広報室 (電話0279-22-2182)

室長 熊迫 徳三 (内線2419)

シティブランド発信係長 坂本 和馬 (内線2416)

市民や企業などが実施する渋川市20周年を記念したイベント等を募集します

渋川市は、令和8年2月20日で合併20周年を迎えます。この節目を、市民とともに祝い、市民の一体感の醸成と渋川市の更なる飛躍に繋げるため、20周年を記念したイベント等の取組を募集します。

1 概要

平成18年2月20日に、渋川市、伊香保町、小野上村、子持村、赤城村、北橘村の6市町村の合併により新しい「渋川市」が誕生し、令和8年2月20日(金)で20周年を迎えます。

渋川市は、この節目となる機会に、「みんなで創る 未来の渋川」をコンセプトとして、市民や企業、各種団体等による、20周年を記念したイベント等の取り組みを募集します。

2 募集内容

募集する取り組みは、次の(1)、(2)のいずれにも該当するもので、新規や既存の取り組みを問わず、広く対象とします。

(1) 令和7年度に実施するもの

(2) 市民や企業、各種団体等が渋川市20周年記念事業の趣旨に賛同し、「渋川市20周年記念事業」を冠して行うもの

例1) お祭り、発表会、運動会などの自治会や各種団体のイベント

(名称例：渋川市20周年記念事業 ○○地区発表会)

例2) 商業施設の入場料割引、商品の割引販売など

(名称例：渋川市20周年記念事業 ○○園入場料割引)

例3) 記念品や特典のプレゼント

(名称例：渋川市20周年記念事業 ○○商店記念品プレゼント)

3 募集受付開始日 令和7年5月1日

4 応募された取り組みの取扱い

(1) 渋川市公式ホームページなどにおいて紹介します

(2) 20周年記念のロゴマークやのぼり旗が使用できます(令和7年6月頃から順次提供します)

(3) 令和8年度に実施する予定の渋川市20周年記念事業の展示会において、取り組みの実施状況等を紹介します

5 応募方法

(1) 所定の応募用紙をメール (hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp)、郵送 (〒377-8501 渋川市石原80) または持参により政策戦略課へ提出

※応募用紙は市ホームページからダウンロードできます

(2) 渋川市公式ホームページの専用フォームからの応募



専用フォームはこちら▶

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：政策戦略課 (電話0279-25-8554)

課長 小野 篤史 (内線2420)

政策推進係長 樺澤 華一 (内線2422)

ユースセンターよはくSRHR啓発推進メンバーによる リプロダクティブ・ヘルス／ライツの啓発活動が 渋川女子高等学校で行われます

渋川市は、令和7年3月に「男女共同参画」や「女性の健康づくり」を推進するための啓発チラシ「ユース世代のためのリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」を作成しました。

今回、作成に協力いただいた「ユースセンターよはくSRHR啓発推進メンバー」による啓発活動が、5月14日(水)に渋川女子高等学校で行われます。

1 概 要

渋川市は、誰もが自分らしく輝き続けることができる社会を実現することを通じて、人口減少をはじめとした社会情勢の急速な変化に対応していくとともに、多様な人材が活躍できるまちづくりに取り組んでいます。

「女性の健康づくり」を重要施策に位置づけ、「女性の健康週間」の普及啓発や、更年期等のホルモンバランスの変化による女性特有の健康課題等についてのセミナーやチラシ配布等を進めています。

これらの取組みの一つとして、若年層からのヘルスリテラシーの向上を目的に、生涯を通じた女性の健康支援に関する重要な概念の一つである「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する啓発チラシ「ユース世代のためのリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」を、令和7年3月に作成しました。

この度、チラシの作成に協力いただいた「ユースセンターよはくSRHR啓発推進メンバー」の皆さんの希望により、同世代である渋川女子高等学校の生徒を対象に、啓発チラシを用いた「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の啓発活動が行われます。

同推進メンバー中の高校生自身が、同世代である高校生に対し、作成までの経過や体験談、想いを直接伝える機会を設け、ライフデザインやキャリア形成の途中にいる若年層に関連性の高い旬な情報を伝達することで、ヘルスリテラシーの効果的な向上が期待されます。

2 日 時 令和7年5月14日(水) 午後3時30分開始予定

※同校生徒会による生徒総会終了後に、15分程度行われる見込みです。生徒総会の進行により開始時間が変動するため、取材される人は、午後3時20分に学校へお越しいただき、控え室でお待ちください

3 場 所 群馬県立渋川女子高等学校 体育館（渋川市渋川2684）

4 内 容

啓発チラシ「ユース世代のためのリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」を用いながら、その作成過程や啓発内容のほか、推進メンバーの思いなどを、同世代である在校生に向けて発表・説明する予定です。

5 主 催

ユースセンターよはくSRHR啓発推進メンバー6名のうち、同校在校生4名

- ・長谷川 陽南（はせがわ ひなみ）さん／渋川女子高等学校3年
- ・片桐 静流（かたぎり しずる）さん／渋川女子高等学校3年
- ・都 丸 唯（とまる ゆい）さん／渋川女子高等学校3年
- ・石田 明日美（いしだ あすみ）さん／渋川女子高等学校3年

6 そ の 他

- （1）取材を希望される場合は、前日までに総合戦略部政策戦略課未来戦略係へご連絡ください。
- （2）今回の活動を契機として、市内の他の高等学校や特別支援学校、各中学校への啓発に繋がるよう、渋川女子高等学校の協力により、各校への見学の案内を行いました。

参考

1 「ユースセンターよはくSRHR啓発推進メンバー」について

「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の啓発を図るために、若者世代からの主体的かつ多角的な情報発信を進めるため、高校生以上の世代が集う場所「ユースセンターよはく」を運営する一般社団法人ポータルと連携し、ユースセンターを利用する高校生や大学生の中から、企画に参画してくれるメンバーを募集しました。

同メンバーは、有識者による女性の健康づくりの講義を受け、「SRHR」について理解を深めながら、このチラシを作成しました。

同チラシをSNSで発信するほか、令和7年度も引き続き、「SRHR」の啓発に協力していただきます。

2 「ユースセンターよはく」について

高校生や大学生などのユース世代が、放課後などに思い思いに好きなことをして過ごせる学校以外の居場所で、令和6年4月に開所しました。

- （1）所在地 渋川市渋川1816番地22
- （2）開所日 毎週月・水・金曜日（平日）
- （3）利用料 高校生以上1日100円
- （4）代表者 所長 千明 俊太（電話070-3277-0605）

3 「一般社団法人ポータル」について

「ユースセンターよはく」や群馬県からの支援のもと「フリースクールぱれっと」を同所で開設するほか、前橋市内でもフリースクールやこども食堂を運営し、子どもの居場所づくりを進めている一般社団法人です。

- （1）法人所在地 群馬県桐生市相生町二丁目767番地12
- （2）代表者 古井戸 進

4 「ユース世代のためのリプロダクティブ・ヘルス／ライツ」について

「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の基本的な内容のほか、「生理休暇」、「プレコンセプションケア」、「低用量ピル」、「デートDV」などを紹介し、ユース世代に向けて自分のからだの健康と権利について、啓発を図るものです。

- (1) 規 格 A 4 サイズの三つ折り、カラー・両面印刷
- (2) 指導及び監修 国立大学法人群馬大学 ダイバーシティ推進センター
教授兼副センター長 林 はるみ 氏
- (3) 発 行 令和7年3月

■総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

地方創生推進のための市民ワークショップ 「しぶかわ未来共創カフェ」の参加者を募集します

令和7年3月に策定した「しぶかわ未来共創プラン（第3期渋川市総合戦略）」に基づき、市民ニーズを踏まえた地方創生の取り組みにつなげるため、市民ワークショップ「しぶかわ未来共創カフェ」を実施します。

ワークショップの実施に当たり、「しぶかわ未来共創プラン」の基本目標に基づく4つのテーマごとに参加者を募集します。

1 概要

渋川市では、第3期渋川市総合戦略である「しぶかわ未来共創プラン」を令和7年3月に策定し、令和7年度から令和11年度までの5カ年にわたって、地方創生の取り組みを推進していくこととしています。

「しぶかわ未来共創プラン」に基づき、市民ニーズを踏まえた地方創生の取り組みにつなげるため、市民ワークショップ「しぶかわ未来共創カフェ」を実施します。

ワークショップのテーマは、「しぶかわ未来共創プラン」の基本目標に基づき、「子育て支援、教育環境の充実」、「交流人口の拡大、移住・定住の促進」、「働く場の確保、農林業の活性化」、「安全・安心なまちづくり、行政のDX化」の4つとし、それぞれ開催日を分けて実施します。ワークショップへの参加を希望する人は、自分の興味のあるテーマを選択して参加していただきます。

なお、ワークショップには、市役所職員で構成する「地方創生庁内ワーキンググループ」のメンバーが参加し、運営をサポートします。

2 実施日等

期日	時間	場所	テーマ
令和7年5月31日(土)	午前10時～正午	渋川市役所 本庁舎	子育て支援、 教育環境の充実
令和7年6月7日(土)			交流人口の拡大、 移住・定住の促進
令和7年6月21日(土)			働く場の確保、 農林業の活性化
令和7年6月28日(土)			安全・安心なまちづくり、 行政のDX化

※興味のあるテーマを選択して申し込みをしてもらいます

※全ての回に申し込むこともできます

3 対象 渋川市内に在住または在勤・在学している人

4 定 員 各回20人（定員超過の場合は抽選とします）

5 申込方法

（1）市ホームページの応募フォームから申込み

※右の2次元コードからアクセスできます

（2）政策戦略課へ電話（Tel0279-25-8554）で申込み



6 申込期限 各実施日の3日前まで

7 その他

希望者は、無料の託児サービスを受けることができます。渋川市役所本庁舎内において、市が委託する保育士がお子さんを預かります。

託児を希望する場合は、参加するワークショップの実施日の10日前までに連絡してください。

参考

地方創生庁内ワーキンググループとは

「しぶかわ未来共創プラン」の主要事業に基づく庁内関係所属職員をメンバーとして構成する組織です。しぶかわ未来共創カフェへの参加や事業立案のディスカッションを行うことで、実効性のある地方創生施策の展開を図ります。

■総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）
担当：政策戦略課（電話0279-25-8554）
課長 小野 篤史（内線2420）
政策推進係長 樺澤 華一（内線2422）

資料6

ミニシンポジウム「しぶかわ未来共創サマーセッション in 豊秋」を開催します

渋川市は、「人口減少」などの課題を市民の皆さんと共有し、共に市の未来を考えるためのミニシンポジウムの第5弾を、7月8日(火)に豊秋地区で開催します。

1 概 要

全国的に進む「人口減少」や「少子高齢化」は、渋川市にも様々な影響を及ぼしています。

渋川市が抱える状況を市民の皆さんと共有し、共に市の未来を考えるためのミニシンポジウムを、豊秋地区で開催します。

2 日 時 令和7年7月8日(火) 午後6時～7時30分

3 会 場 豊秋公民館 講堂(渋川市行幸田943-1)

4 内 容

他地区での開催と同様に、「人口減少やこれに伴う学校・公共施設のあり方、行政サービスの維持など」をテーマとしながら、テーマに関する市の説明の他、参加者間での意見交換を行います。

5 対 象 者 市内在住・在学・在勤の人のほか、どなたでも参加いただけます

6 定 員 50人(先着順)

7 参 加 料 無料

8 申込方法

- (1) 氏名、年齢、住所、電話番号を、電話(0279-25-8419)またはメール(mirai@city.shibukawa.gunma.jp)で政策戦略課へ
- (2) 市ホームページの専用応募フォーム

応募フォームはこちら▶



9 そ の 他

- (1) 今後も、市内各地区で開催する予定です
- (2) 託児、車椅子、移動の介助、手話通訳等を希望される人は、気軽に相談してください

参考

今までの開催実績について

	開催日時	会場	参加者数
しぶかわ未来共創 ウインターセッションin伊香保	令和7年2月6日	伊香保公民館 講義室	13人
しぶかわ未来共創 スプリングセッションin小野上	令和7年3月26日	小野上公民館 講義室	24人
しぶかわ未来共創 スプリングセッションin金島	令和7年4月24日	金島公民館 ホール	12人
しぶかわ未来共創 まちなかセッション	令和7年5月30日 (金)	渋川公民館 講堂	—

■総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）
 担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）
 課長 小野 篤史（内線2420）
 未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

あなたの思いと声を、しぶかわの未来へ届けるために

しぶかわ未来共創

サマーセッションin 豊秋



2025年

7/8 (火)

PM6時～7時30分

会場

豊秋公民館 入場無料

講堂

定員50名(先着順)



金島会場での



意見交換の様子

プログラム

渋川市が抱える「人口減少」などの課題を、市民の皆さんと共有し、共に市の未来を考えるため、①テーマに関する市の説明、②参加者間での意見交換を行う、ミニシンポジウムを地区別で開催します。今回のテーマは、「人口減少やこれに伴う学校・公共施設のあり方、行政サービスの維持など」です。

当日は、市の財政や公共施設、水道事業や教育環境の状況をまとめた資料を配付します。

申し込み方法

■次のいずれかの方法でお申し込みください。

①電話(政策戦略課直通、TEL0279-25-8419)

②メール(mirai@city.shibukawa.gunma.jp)

※氏名、年齢、住所、電話番号をご記載ください。

③市ホームページの専用応募フォーム

※右の二次元コードからご応募ください。

■託児、車椅子、移動の介助、手話通訳等を希望される方は、お気軽にご相談ください。



主催：渋川市

渋川市20周年記念事業 第21回清流祭りを 5月18日(日)に開催します

渋川市中郷浅田地区の利根川河川敷において、第21回清流祭りを開催します。
今回は、多くの子供たちが魚と触れ合えるよう、魚つかみどリエリアを拡大して実施します。

1 目 的

「美しく豊かな環境と共生し自然環境の保全」に寄与することを目的に「清流祭り」を開催します。身近な自然であり暮らしに関わりの深い「川」を通じて、自然環境の大切さを呼びかけ、一人一人が環境に優しい心を持ち、自ら考え、行動し、環境保全に努める意識の醸成を図ります。

- 2 開催日 令和7年5月18日(日) 午前10時～午後2時30分(予定)
(開会式：午前10時～10時40分)
※当日および前日までの天候等により中止の場合は、市ホームページでお知らせします

- 3 場 所 利根川河川敷(中郷浅田地区)(下図参照)
※駐車場に限りがありますので、車は乗り合わせてお越しください
※車でお越しの場合、案内看板及び係員の指示に従い、駐車してください



4 内 容

(1) プログラム

- ア 開会式(午前10時～10時40分)
- イ ヤマメ放流(午前10時40分～11時)
- ウ ペア団体フィッシングトーナメント(午前11時30分～正午)
※対象は小学生
受付開始は午前9時から(先着20組程度)
参加条件：釣りができる人とのペアでお申し込みください
- エ 魚釣り・魚つかみどり(高校生以下対象)(正午～午後2時15分)
- オ 大正琴(愛琴会)(午後0時30分～1時)
- カ 河川愛護活動(参加者全員)(午後2時15分～30分)

(2) その他

- ア マス焼き等(午前11時10分～午後1時)

- 5 参加費 無料
- 6 主催 清流祭り実行委員会・渋川市
- 7 協賛 フィッシングサークル渋川
その他

8 周知の方法

市ホームページや、「広報しぶかわ」5月号への記事掲載及び関係施設へのチラシ配布により周知します。

9 その他

- (1) プログラムは変更となる場合があります
- (2) 当日は熱中症対策として、各自水分補給をお願いします

参考

過年度の清流祭り実施状況

実施年度	来場者数
平成28年度（第17回）	約2,300人
平成29年度（第18回）	約1,900人
平成30年度（第19回）	約1,900人
令和元年度	河川増水により中止
令和2年度～4年度	新型コロナにより中止
令和5年度	会場の都合により中止
令和6年度（第20回）	約1,000人

■問い合わせ先

建設交通部長 木村 博之（内線4700）
 担当：土木維持課（電話0279-22-2527）
 課長 野村 智幸（内線4760）
 維持二係長 横田 勝彦（内線4765）

渋川市20周年記念事業 第21回清流祭り



～プログラム～

- | | |
|----------------------|--------|
| ① 清流祭り開会式 | 10:00～ |
| ② ヤマメ稚魚放流 | 10:40～ |
| ③ ゲストチャレンジ | 11:00～ |
| ④ 釣り教室 | 11:10～ |
| (アングラーズテクニカルエキシビジョン) | |
| ⑤ パー団体フィッシングトーナメント | 11:30～ |

※対象は小学生
受付開始: 午前9時より先着20組程度
参加条件: 釣りができる人とのペアで

- | | |
|-------------|----------|
| ⑥ 魚釣り | 12:00～ |
| 魚つかみどり | |
| (※対象は高校生以下) | |
| ⑦ 大正琴(愛琴会) | 12:30～ |
| ⑧ 河川愛護 | 14:15～ |
| (全員参加) | 14:30 |
| マス焼き | 各 11:10～ |
| 焼きそば | |
| わたあめ | |
| ポップコーン | |
| 飲みもの販売 | |

令和7年5月18日(日)

午前10時～午後2時30分
渋川市中郷(浅田地区) 利根川河川敷

- * 子供が中心の祭りです。マナーを守りましょう。
- * 釣り竿は100本程度用意しています。(持参したものの使用も可)
- * 事故防止のため、清流祭り中のルアー・フライの使用を禁止します。
- * 魚つかみどリエリアでのあみの使用は禁止します。
- * 魚釣リエリアの釣り場縮小に伴い、今回から高校生以下が対象となります。(保護者の同伴は可)



※プログラムは変更となる場合があります

※水たまりの発生が予想される箇所があるため、サンダルや長靴等の持参を推奨します

※駐車場に限りがありますので、車でお越しの際は乗り合わせでの来場にご協力ください

※当日、前日までの天候により、会場又は駐車場が使用できない場合は中止となります

●問い合わせ先: 清流祭り実行委員会事務局(渋川市土木維持課) 電話: 0279-22-2527

会場案内図



私たちの身近な自然であり、暮らしに関わりの深い「川」を通じて自然環境の大切さを呼びかけ、一人一人が環境保全に努め、美しい川を守ることを約束をしましょう。

- 清流の源である森林の保護・育成の呼びかけ、自然環境を守りましょう。
- 川にごみ等を不法投棄しないよう呼びかけ、河川環境の保全に努めましょう。
- 川の生物の生態を侵さないよう呼びかけ、川を守りましょう。
- 河川改修については優しい環境づくりを呼びかけ、自然に親しめる水辺にしましょう。
- 水の汚濁については個々に気をつかうことを呼びかけ、清流を守りましょう。

清流祭り実行委員会